

南島原市ニュース

令和3年9月22日

タイトル

タイムカプセル掘り起こし
～21年後の自分・子供・孫に宛てる手紙～

2000年12月31日午後10時から2001年1月1日午前1時にかけて、有家町民で21世紀の幕開けを祝うカウントダウンイベントを有家総合運動公園で開催。

100年に一度の新世紀の幕開けの瞬間を、当日会場に訪れた5,000人の来場者が感動を分かち合いました。

このイベントの中で、町民から預かった手紙をタイムカプセルに入れて会場に埋設し、21年後に開封することと決めていました。

今年（2021年）がその掘り起こしの年となります。

そこで、別紙計画書によりタイムカプセルの掘り起こしを行い、手紙を引き渡したいと考えております。

担当部署	有家支所	担当者	支所長 川村安正
直通	0957-73-6603	E mail	
詳しくは <small>☎</small>		検索ワード	
担当者 連絡先			

手紙（タイムカプセル）引渡し計画書

- タイムカプセル 町内全家庭に有家町から封筒を配布し、各家庭で21年後の「自分に宛てる手紙」「子供に宛てる手紙」「孫に宛てる手紙」をタイムカプセルに入れて2000年に埋設しています。
- この手紙を下記により引き渡したいと計画しました。
- 掘り起こし 期日 令和3年9月29日（水） 10:00～
※実行委員による、タイムカプセル掘り起こし
- 手紙引渡し ①期日 令和3年11月13日（土）～11月19日（金）
場所 有家コレジヨホール ロビー ※実行委員により
②期日 令和3年11月22日（月）～12月24日（金）
場所 有家支所
※手紙の引渡し時には引渡書に記入していただく。
- 広報計画 ①広報みなみしまばら11月号で周知
②10月30日配布の有家町内回覧で周知
③新聞、雑誌などによる周知
④ケーブルテレビほか県内テレビ局にて周知

<参考>

イベント名 カウントダウンフェスタ【Festa del Siglo 21】～21世紀の祭典
開催日 2000年12月31日～2001年1月1日 PM10:00～AM1:00
場所 有家町総合運動公園
参加人数 5,000人
主催 21世紀をみんなで祝おう会実行委員会
【参加組織：有家町、商工会、JA有家、JA堂崎、PTA、婦人会、老人クラブ、青年団、4H、手延素麺組合振興会、青少協、各神社総代会（温泉・熊野・松尾・八幡・天満宮・玉垂）有家ハーモニー、滝友会、寄手見遊会、ARIENMON】



ありえ



平成13年
2月号
No.360

CONTENTS

カウントダウンフェスタ	P 2
消防出初式	P 3
あなたは町村合併をどう考えますか?	P 4 ~ 5
成人式・お誕生日おめでとう	P 6
あなたの声	P 7
まちの話題 (トピックス)	P 8 ~ 9
こんにちは保健婦です・俳句・暮会ほか	P 10 ~ 11
掲示板 (お知らせ・募集) ほか	P 12 ~ 13
戸籍コーナーほか	P 14



21世紀の幕開けをみんな 祝いました

12月31日から1月1日にかけて、カウントダウンフェスタ（Fiesta del Siglo 21）が有家町総合運動公園で開催され、5,000人を越える町内外のみなさんと一緒に21世紀の幕開けの瞬間を喜び、そしてお祝いしました。

カウントダウンフェスタは、21世紀をみんなでお祝いする会実行委員会（実行委員長山口忠宗）が100年に一度の新世紀を迎えるにあたり、その瞬間に立ち会えた喜びと感動を多くの人々と共に分かち合い、そしてお祝いすることを目的として開催されました。

オープニングの午後10時、山口会長の開会挨拶で1尺玉火花が打ち上げられ、直径320mの大輪が20世紀最後の有家町の夜空を飾りました。

ステージでは、有家町のパンチャーズ、加津佐町や高校生バンドの演奏が始まり、西有家太鼓保存会の躍動的なばちさばきや有家ハーモニによる第九（よろこびのうた）の合唱。そして、チャリ永谷とキャンボールによるカントリーミュージックがイベントを盛り上げました。

21世紀の幕開けの瞬間は、午前0時の10秒前から会場のみなさんと一緒に10・9・8・7とカウントダウンを行い、0と同時に「ハッピーニューイヤーセンチュリー！」と大声をあげて喜び合いました。そして、3カ所からの打ち上げられた火花が夜空を飾り、創作された劇的な21世紀の幕開けをみんなでお祝いました。

新世紀になってからは、カントリーミュージックが再会

婚 姻届の受付が特別に会場内で行われ、有家町上藤

ち ゃうちん1,000個とペットボトルキャンドル1,001個が会場に飾られ、幻想的な炎は会場に訪れた人

々を魅了しました。20世紀の有家町の風景や建物、人物を写したカウントダウンスクリーン、カウントダウンイルミネーション、祝21と描いた発煙筒、そしてかがり火なども会場の雰囲気盛り上げました。

山口忠宗実行委員長



このカウントダウン開催にあたり、テーマを2つもうけました。その一つが異種多様な団体や個人の多くの方々の手によって創り上げ、有家町の人材育成につなげること。そしてもう一つが20世紀は使い捨ての時代から21世紀はリサイクルの時代であるということです。

1,000個の提灯は、昨年初盆を迎えられたご家庭がわざわざ持参してくださいました。そのちょうちんに老人クラブのみなさんが「祝21」と朱書をしていただきました。ペットボトルも同様に持参してくださいました。その他にもいろいろな作業に沢山のみなさま方が協力して頂き、町内の事業所からも多くの協賛品も頂きました。このように多くのみなさんの協力により今回のカウントダウンフェスタを創り上げることができたのです。

ご協力いただきました、関係各位のみなさま方には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

